



グリーン
阿蘇「水土里」自然環境推進協議会発足

4月7日、農村環境改善センターで、市民・各種団体・事業所等で構成する、阿蘇「水土里(グリーン)」自然環境推進協議会の設立総会が開催され、60団体38人が出席しました。

近年阿蘇市でも、生活排水による河川等の水質汚濁をはじめ、自動車による騒音や大気汚染、廃棄物による環境の悪化など、いわゆる都市・生活型公害といわれる環

境汚染が問題となってきており、早急に取り組まなければならない課題となっています。協議会は阿蘇土地改良区を事務局とし、今後、クリーンキャンペーンなどの自然環境保全活動を通じてネットワークづくりを進めます。

協議会役員には、会長に本田二男さん(阿蘇土地改良区理事長)、副会長に山部謙一郎さん(商工会長)、藤井貴美夫さん(区長会長)が選出されました。

※早速、ゴールデンウィーク前の4月26日には「阿蘇水土里・クリーン作戦」が農村公園あびか周辺の農道等で実施され、370人の皆さんが汗を流されました。



「阿蘇水土里・クリーン作戦」の様子

「阿蘇市人権・同和教育推進協議会」総会



5月18日、平成21年度阿蘇市人権・同和教育推進協議会(会長佐藤市長)総会が阿蘇いこいの村で開催されました。総会では、平成20年度事業報告と決算報告、平成21年度の事業計画や予算などが承認され、任期満了に伴う役員選出では、副会長及び幹事の再任が了承されました。

この協議会は、行政や市内の企業・学校など118団体(平成20年度は115団体)で組織され、同和教育問題をはじめとするあらゆる差別の解決、人権意識の普及高揚を図るため、連携して教育・啓発活動に取り組んでいます。総会終了後には、人権啓発ビデオを利用して研修会も実施されました。

オムロン阿蘇株式会社(中島代表取締役社長)と同社労働組合(酒井執行委員長)は、昨年度(下半期)、会社全体で取り組んだエコ活動、ボランティア活動の成果(活動をポイント制にし獲得点を会社と組合が地域に寄付する仕組み)として、市教育委員会に図書カードを寄贈されました。

オムロン創業76年目(オムロン阿蘇は36年目)を迎えるオムロングループでは「企業は社会の公器」の企業理念のもと、オムロン創業記念日である5月10日を社会貢献の日として国内外で様々なボランティア活動を展開されています。オムロン阿蘇では、従業員の皆さんが日常的に環境やボランティアを意識し、節電やリサイクル、献血などに取り組まれているということです。

エコ・ボランティア活動をして
学校に図書寄贈



▲図書カードを日吉教育長に手渡す立山取締役(左)